

劉文兵先生講演会

李香蘭、高倉健、山口百恵、木村拓也など、幾世代の日本の映画スターが、様々な複雑な政治的状况のもとで中国国民に受容され、そして中国人が抱く対日本(日本人)のイメージにきわめて大きな影響を及ぼしてきました。本講演は中国側から見た日本人映画スターの系譜を整理することについて、日中文化交流の可能性を明らかにしたいと思います。また現代中国と日本の関わりとして、抗日映画やドラマ、アニメ人気についても触れられたらと考えています。

■日 時：2018年1月20日(土)

13:00~15:00(12:40受付開始)

■講 師：劉文兵先生

■会 場：日中学院内教室

■参加費：500円(当日お支払い下さい)

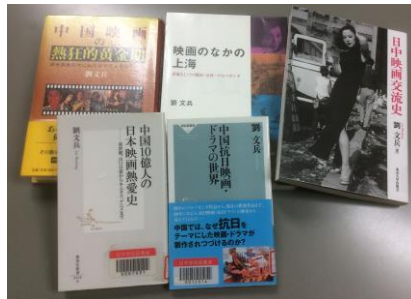
■定 員：60名

参加をご希望の方は、日中学院事務局までお申し込み下さい。皆様のお申し込みをお待ちしております。



劉文兵先生プロフィール

1967年中国山東省生まれ。2004年東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻表象文化論コース博士課程修了。日本学術振興会外国人特別研究員を経て、現在、東京大学学術研究員。早稲田大学ほか非常勤講師。2015年度日本映画ペンクラブ賞・奨励賞を受賞。日中映画研究の第一人者。『中国10億人の日本映画熱愛史』『中国抗日映画・ドラマの世界』『日中映画交流史』など著作多数。



劉文兵先生の本は、図書室で貸し出し中です！

112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3

電話：03-3814-3591

HP：www.rizhong.org/

日中学院

中国人から見た日本の映画スターの系譜
——高倉健とそれ以前、以降